

総務常任委員会
決算常任委員会総務分科会

(平成27年9月15日)

〔決算常任委員会分科会〕

○ 竹野兼主委員長

時間になりましたので、再開いたします。

それでは、決算常任委員会総務分科会、議会事務局分を行いたいと思いますが、まず、議会事務局長よりご挨拶をお願いいたします。

○ 服部議会事務局長

平成26年度の議会活動につきましては、通年議会も4年目ということでございまして、適宜、緊急議会等の対応もしていただいたところでございます。また、委員会活動におきましては、年間を通して精力的に所管事務調査等を実施していただきました。また、議会改革につきましては、対外的にも非常に高い評価を得ることができまして、その影響もあつてか、平成26年度は他市議会からの視察も大変多く受け入れることができました。

そうした実績を数値等で決算常任委員会資料としてまとめさせていただいておりますので、また、あわせて予算の執行状況等も記載させていただいておりますので、議会費の決算審査ということで、よろしく願いをいたしたいと思っております。

議案第17号 平成26年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について
一般会計

第1款 議会費

○ 竹野兼主委員長

それでは、議案第17号平成26年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について、第1款議会費について、8月26日に委員会別議案聴取会で資料の説明はもう終わっておりますので、質疑から始めていきたいと思っております。

それでは、ご質疑を受けます。ご質疑がございましたら、発言をお願いいたします。

○ 樋口博己委員

時間外勤務、昨年度はどこかに出ていますかね、時間外勤務というのは。どこかに出ていますか。

○ 竹野兼主委員長

どこかに載っていますかね。

○ 清水議会事務局議事課長

資料にはお載せしていない。

○ 竹野兼主委員長

載っていないそうです。

○ 樋口博己委員

時間外勤務、平均で時間わかりますか、昨年度。

○ 清水議会事務局議事課長

時間外対象人員は14名でございます、議事課全体の平成26年度の平均は33.5時間となっております。月平均でございます。

○ 樋口博己委員

そうすると、年間で360時間を超えているということですね。

○ 清水議会事務局議事課長

はい。対象人員のうち、9名が360時間を超えておる状況でございます。

○ 樋口博己委員

ちなみに、通年議会になって、4年前からの数字って今持ってみえますか。平成23、24、25、26年度ですか。

○ 清水議会事務局議事課長

4年前ですと、平成22年度が通年議会導入前になりますが、そのときが23時間という形です。それから徐々に、月平均時間外時間はふえておるところです。

○ 樋口博己委員

平成22年度が23時間で、その後、平成23、24、25年度も数字を教えてください。

○ 清水議会事務局議事課長

平成23年度が28時間です。平成24年度が34時間、平成25年度が29.3時間という形でございます。

○ 樋口博己委員

わかりました。平成26年度は9名が360時間を超えているということですが、一番最高の方は何時間ですか。また、その方は何係でしょうか。

○ 清水議会事務局議事課長

一番多い者が年間で654時間、時間外をしております、何係というところにつきましては、総務係でございます。

○ 樋口博己委員

大体、もう誰かわかる。

我々議員も協力できることはしっかり協力していかなあかんと思いますし、事務局の中でも総務係の方が一番多いということで、人の配置というよりは、協力体制も少し考えていただいたりとか、あと、また、その上で、人間的に残業時間が構造的に多いということであれば、やはり議会としても、人員の増、配置も求めていかないといけないかなと感じました。

以上です。

○ 竹野兼主委員長

他にご質疑ございますか。

○ 荒木美幸副委員長

今の樋口委員の関連になろうかと思いますが、平成25年度から職員が1名増員をされま

して、そして、議員定数2名減となりましたけれども、今後、さらに議会改革であったりとか、議会の活性化の議論がどんどん進んでいく中で、今、数字を示していただいたように、本当に職員の負担というのも大きくなっていくのかなというふうに思うんですけれども、今、樋口委員おっしゃった続きにはなりますが、今後の職員の見通しについてはどのようなお考えというか、方向性を持っていらっしゃるか、局長にお聞きしたいと思います。

○ 服部議会事務局長

先ほど、時間外が多いところの、総務系の者がという話も出たんですけれども、実は、この平成26年度、それから平成27年度、平成28年度、ちょっと来年度にかけて、この3年間につきましては、議長会の役が、東海市議会議長会、今年度は会長に当たったりとか、去年は副会長で、副会長業務も結構ありまして、そして、来年度は三重県市議会議長会の会長ということで、そういう部分での当たり年ということで、少しその分の負担がかぶってくるということで、できる限り他の係の応援も得て対応していきたいというふうには思っておるところでございます。今のところ、視察対応もふえてきておるといってお話もさせていただいたんですけれども、これも、議会運営委員会のほうで視察対応についても議員がお手伝いをしていただくというふうなことで話も流れておりますもので、議員のお力もおかりしながら、現体制でできるだけ仕事も平準化した上で、協力体制をとって進めていきたいなというふうに思っております。

○ 荒木美幸副委員長

ということは、この3年間、何とか乗り切っていくということがまず一つで、あとは協力体制ということで、議員も協力体制に加わっていかないといけないのかなと感想を持ちました。

以上です。

○ 竹野兼主委員長

他によろしいですか。

○ 早川新平委員

議会報告会、シティ・ミーティングが開催されて、もう4年ぐらいになるのかな。私たちも経験値で、これ、議会も考えていかなあかんのやけど、討論にもなっておるんやけど、あり方ね。いつもお見えになる方がたいがい固定化されているので、そのところは、事務局としてはどういう見解を持ってみえるんですか。

○ 服部議会事務局長

議会報告会は、5年目に入ってきておるといことでございまして、他市議会との比較もした上であれなんですけれども、それでも、まあまあ、ある程度一定の人数は、人数的には、他市議会の状況も拝見してくると、一定の人数はいつも大体集まっていたいておるかなというふうに思っております。

ただ、早川委員言われるように、固定化してきておる部分もあって、さきの議会運営委員会の中でも、議会報告会のあり方ということで少し検討もしていただいております。今年度につきましては、これまで、各定例月議会が終わった後の数日後の夕方、2回に分けて、4常任委員会を2回に分けてしていただいております。なんですけれども、土日の昼間開催も試行していただくというふうな流れで、議会運営委員会のほうでも検討していただいております。ある意味、いろいろ試行錯誤的に、対象がいろいろ広がるような格好で対応をしていただけたということでございまして、ちょっとその推移も見ながら、あるいは、他市の状況も常に情報収集しながら、事務局としてもいい方向に持っていくことができたらというふうに思っております。

○ 早川新平委員

局長は議会運営委員会も全部参加されているし、議会も、このあり方について、一部の市民の方からは同時開催でやったらどうやという、いろんな声もあるので、試行錯誤でやっつかんと。特に定例月議会の後で毎回やっているということのあり方も、我々も考えなあかんのやけれども、形骸化ちょっとしつつある。

我々がずっと参加をしておって、特に1期生の方はまだ1回経験しただけやから、すぐ2回目、3回目、今年度でも同じような顔ぶれの方がお見えになっていて、それから、開催でも、常任委員会ずつでやっておるんやけど、全部回れていないという、参加者の市民の方からはそういうところもあるので、これ、事務局に対してやし、我々の責任でもあるんやけれども、こういうことはやはり、あちらを立てればこちらが立たないというところ

があるので。

それから、事務局の先ほど残業時間が出ていたけど、土日開催となると、そういったところも危惧をしなければいかんところがあるので、特効薬はないのかなと思いながら、事務局の見解をお伺いいたしました。ありがとうございます。

○ 竹野兼主委員長

他にございますか。

(なし)

○ 竹野兼主委員長

他にないようですので、これより討論に入ります。

討論ございますでしょうか。

(なし)

○ 竹野兼主委員長

討論もないようですので、分科会としての採決に入ります。

議案第17号平成26年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について、一般会計、第1款議会費につきましては、認定すべきものと決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○ 竹野兼主委員長

ご異議なしと認め、本件は認定すべきものと決しました。

[以上の経過により、議案第17号 平成26年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について、一般会計、第1款議会費について、採決の結果、別段異議なく認定すべきものと決する。]

○ 竹野兼主委員長

全体会に送るところはないということで確認させていただきます。

(異議なし)

○ 竹野兼主委員長

じゃ、よろしく願いいたします。

議会事務局、ご苦労さまでした。

[常任委員会]

○ 竹野兼主委員長

3日間にわたり、どうもご苦労さまでした。今回は、一番最初のところで、所管事務調査についての提案はございませんでしたので、所管事務調査はなしということで、一応、総務常任委員会はこれで終了とさせていただきます。

ただし、毎回のことなんですけど、休会中所管事務調査、それから報告書の確認、そして定例月議会の議会報告会についてを、中村委員が来てから少し決めたいので、もうしばらくお待ちください。

○ 森 康哲委員

報告書は確認してもらっておったら……。

○ 荒木美幸副委員長

そうですね。

○ 竹野兼主委員長

報告書を配付しておりますので、もし修正がある場合には、9月25日の金曜日までに、俺、ここのところはこう変えたいんやみたいなのがあれば、また、事務局、濱瀬さんのほうに連絡をいただきたいと思います。9月25日の金曜日までですので、よろしく願いします。

○ 森 康哲委員

委員長報告は一任でええね。

○ 竹野兼主委員長

報告は一任していただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 竹野兼主委員長

ありがとうございます。じゃ、報告はご一任いただくということですので。

この前、事務局との話し合いの中で、QアンドA方式という形をさせていただいております。やっぱり議員の中には、あんなQアンドAでええんかというふうに言われる方もいるんですけど、今回も、形としては、皆さんが質問されたという部分でどういう答弁があったかというのを、より皆さんにリアルに知っていただくために、そういう形で用意させていただきますので、このことについてはご一任いただきたいということで、よろしくお願ひします。

○ 早川新平委員

これ、休会中所管事務調査、3日間。

○ 竹野兼主委員長

3日間のうちの、10月13、14日と2日続けてはないので、10月のうちに1日。これは、この前約束の部分もあるのと、それから、早川委員のほうで、入札の部分のところで少し話したいところとか、確認したいところもあったというのも、この前も少しお話しされていたので、それを含めて、もう一度質疑をしていただくとありがたいかなというふうな思いで、題名としては入札制度についてという形で、1日とらせていただきたいと思います。

○ 早川新平委員

議員間討議中心でやったらええん違ひの。

○ 竹野兼主委員長

それはそれでも結構です。それは、まずは形としては、入札制度についてという形での所管事務調査でよろしいかどうかというのを皆さんにお諮りしたいと思っておりますが、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 竹野兼主委員長

ほかに何か、よろしいか。

(なし)

○ 竹野兼主委員長

そうしたら、日程のほうですが、案として、10月13、14日、11月9日と、この3案しか日程的には、いろんなことが重なるということで、とれておりません。できましたら10月13日の午前中をお願い……。

○ 森 康哲委員

午後って書いてある。

○ 荒木美幸副委員長

10月13日は午後です。

○ 竹野兼主委員長

10月14日が午前か。10月14日の午前でもしよければ。

10月14日って、皆さん、どうですか。

(「10月13日のほうが」と呼ぶ者あり)

○ 竹野兼主委員長

10月13日のほうが都合がいい。じゃ、10月13日の午後でよろしいですか。

(異議なし)

○ 竹野兼主委員長

では、10月13日午後とらせていただいて。

○ 荒木美幸副委員長

13時30分ですね、時間。

○ 竹野兼主委員長

13時半からということで。10月13日の13時半ということでお願いします。

○ 樋口博己委員

済みません。13時半から、最大で何時ぐらいですか。

○ 竹野兼主委員長

2時間程度かなとは思いますが。

10月13日を休会中の所管事務調査に充てていきますので、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 竹野兼主委員長

じゃ、1日ということでお願いいたします。

それで、次、8月定例会議会報告会について、また役割を決めさせていただかねばなりません。10月8日、午後6時半、常磐地区市民センターで行います。テーマは防災対策についてとなっておりますので、できたら今度も副委員長のほうで報告、いつもしていただいていますので、その形でさせていただきたいと思いますが、シティ・ミーティングの司会を新人のお二人、一度どうですか。

○ 中村久雄委員

議会の報告のほうですけど、報告、新人さんにやってもろうたほうがええかなと思うんですけど。

○ 竹野兼主委員長

申しわけないけど、これ、決算で、ちょっといろいろと状況が、次回、11月定例会議会の説明については、一度、お二人が、ひょっとしたら当たるかもしれないという思いで、申しわけないですけど、今回の報告会に臨んでいただきたいと思います。

○ 中村久雄委員

僕たちの4年前も、最初新人がさせてもろうておったんですよ。やっぱり報告している中で、自分もしっかりまたもう一度読み込むし、やはりそういう人前での報告という、なれというのは出てきたと思うので、いきなり質問されてそれに答えるというのも、それはしておかなあかんのでしょうかけれども、やはりそれはやってもろうたほうが僕はいいかなって。

○ 早川新平委員

今の中村さんの意見、わかるんやけど、お二人がやりますっていうのと、いや、もうちょっと待ってくださいと言っているやつは、尊重してやったらどう。

○ 中村久雄委員

それはそうです。

○ 荒木美幸副委員長

いかがですか。

○ 竹野兼主委員長

やりたいですか。

○ 谷口周司委員

どんなのでしたっけ。今思い出しとるんですけど。

○ 竹野兼主委員長

そういう意識なかったもんな。

○ 谷口周司委員

はい。

○ 竹野兼主委員長

そやで、僕が思うのは、今度の11月定例月議会は、報告する内容も、議案的には決算審査とかという部分ではないので、そのほうがやりやすいと思うので、一応委員長として、そういう形で次はお二人のところのどちらかでやってもらえるような状況を考えていきたいと思いますので。中村委員の発言をいただいたことで。

だから、ちょっとそういう意識を持って、申しわけないですけど、今度、副委員長の報告を聞いてみてください。

○ 谷口周司委員

はい。

○ 竹野兼主委員長

シティ・ミーティングの司会はどなたに。

(発言する者あり)

○ 谷口周司委員

わかりました。

○ 竹野兼主委員長

では、シティ・ミーティングの司会は、谷口委員にお願いします。

これもちまして、総務常任委員会を終了します。お疲れさまでした。

11 : 35 閉議